

本部だより

●第5号



マーシャル方面遺族会



ルオット島慰霊碑(平成12年10月17日撮影)

謹賀新年

平成十四年元旦

本部役員及び篤志会員

相談役

おぎゅうきよこ
大給湛子

幹事

山口良二

会長

黒川 誠

同

佐竹エス

副会長

晝間楽平

同

草場 寛

常任幹事

石谷典夫

同

晝間志津子

同

荒木常子

篤志会員

松平永芳

同

高橋鎮夫

同

徳原徳子

幹事

高林芳夫

同

山村 要

平成十四年度

慰霊祭・総会・直会のご案内

会長 黒川 誠

会員、会友の皆様にはお健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

本年の慰霊祭・総会・直会を次の通り行いますので、
皆様お誘い合わせてご参加下さいますよう、お待ちしております。

◆慰霊祭

日時 平成十四年三月三十一日(日)

午前九時

受付 靖国神社参集所前(出席名簿

と照合なさらぬ方は昇殿で

きません。必ず受付をお受け

下さい)

慰霊祭 午前十時御本殿

◆定期総会

会場は九段会館「あかつき・ありあ

けの間」に移動して十二時三十分より

約一時間の予定です。

◆直会

総会終了後その場所が直会会場とな

ります。閉会は三時の予定です。

◇出欠は同封のがきで出席、欠席に

関わらず全欄にご記入の上、二月末日

まで本部に到着するようにご投函をお

願い致します。

◇直会にご出席される方は同封のはが

きにはつきりとご記入下さい。費用は

一名につき四千五百円です。

◇本会への寄付金、直会費、玉串料は、泊希望の会員、会友の方にお知らせ致します。

すべて同封の郵便振替用紙で二月末日までにお送り下さい。

◇玉串料等、受付では現金は取り扱い

ません。必ず郵便振替用紙にてお願い

致します。

●慰霊祭にご出席され、九段会館に宿

話〇三・三二六一・五五二一)

全国戦没者追悼式に出席して

マーシャル方面遺族会初めての代表献花!

●黒川 誠

今年も例年通り八月十五日の終戦記念

日に日本武道館において追悼式が挙

げられました。

今年には二十一世紀最初の終戦記念日

で、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、

遺族や各界の代表約六千五百人が参列

しました。

梅雨時に雨の少なかつた今年の夏は

前日まで猛暑が続いて、当日も定めし

暑いことであろうと予想していました

が、早朝から涼しく助かりました。

折しも小泉首相の繰り上げ「靖国参

拝」で武道館と靖国神社周辺は警備の

車両などでごった返していました。

九時三十分には坂下門に設けられた受

付を済ますと、係員が会場へと案内し

てくれました。毎年度道府県の遺族代

表が一名宛献花する事になっているの

ですが、東京都は本会が代表して私が

献花をすることになりました。これは



本会始まって以来のことです。

私達遺族の「献花者」席は、一階の前列より二番目になり、係員指導によるリハーサルが開会直前まで続きました。各代表六、七名ずつ横一列で菊花を供えるのです。

午前十一時四十分までに参列者が式場に参集して所定の位置につきます。

十一時五十分に厚生労働副大臣が開式の辞を述べ、天皇后両陛下が臨席になり、君が代の斉唱から式典は始まりました。

正午、一分間の黙祷の後、天皇陛下のお言葉から小泉総理大臣の辞に続いて遺族代表（増矢稔氏）が追悼の辞を述べました。

天皇后両陛下がご退場後、小泉総理、来賓、厚生労働大臣、地方公共団体代表並びに各都道府県遺族代表一名ずつの献花となります。

北海道代表から始まり、関東地区は二番目の献花となり、東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城の順で横一列で私が先導役になり祭壇まで上がり、一同揃って無事役目を果たしました（写真上）。

全国戦没者追悼式は、毎年行われるので、五十六回目となります。

遺族会には毎年招待状が届けられてまいります。招待席は二階以上なの

で祭壇は遠くて壇上の方々の顔はほんやりとしていて誰が誰やら判らないうちに式典が終わるのが常でした。

今年は最前列に近いところで、両陛下を始め各閣僚政党代表者のお顔も良く判り、感動致しました。

話題の渦中にある小泉総理や田中真紀子外務大臣が入場されると、会場から期せずして大拍手がわくという場面もありました。

後日談となりますが、毎週日曜日朝六時三〇分よりフジテレビ系で放映されている「皇室ご一家」という番組の中の「天皇・皇后両陛下全国戦没者追悼式へ」に当日の献花の様子が映し出されていました。

その映像を「共同テレビジョン制作部」のご厚意で特別に戴くことができました。

そのビデオの場面から本ページと八ページに掲載させて戴きました。ありがとうございました。

マーシャル・ギルバート諸島の
慰霊巡拝についての
お知らせ

本会では昭和四十三年にマーシャル諸島のクエゼリン島（戦没者の一番多い島）に、他周辺の島々で戦没された三万五千余柱のご英霊の主碑とする慰霊碑を建立致しました。

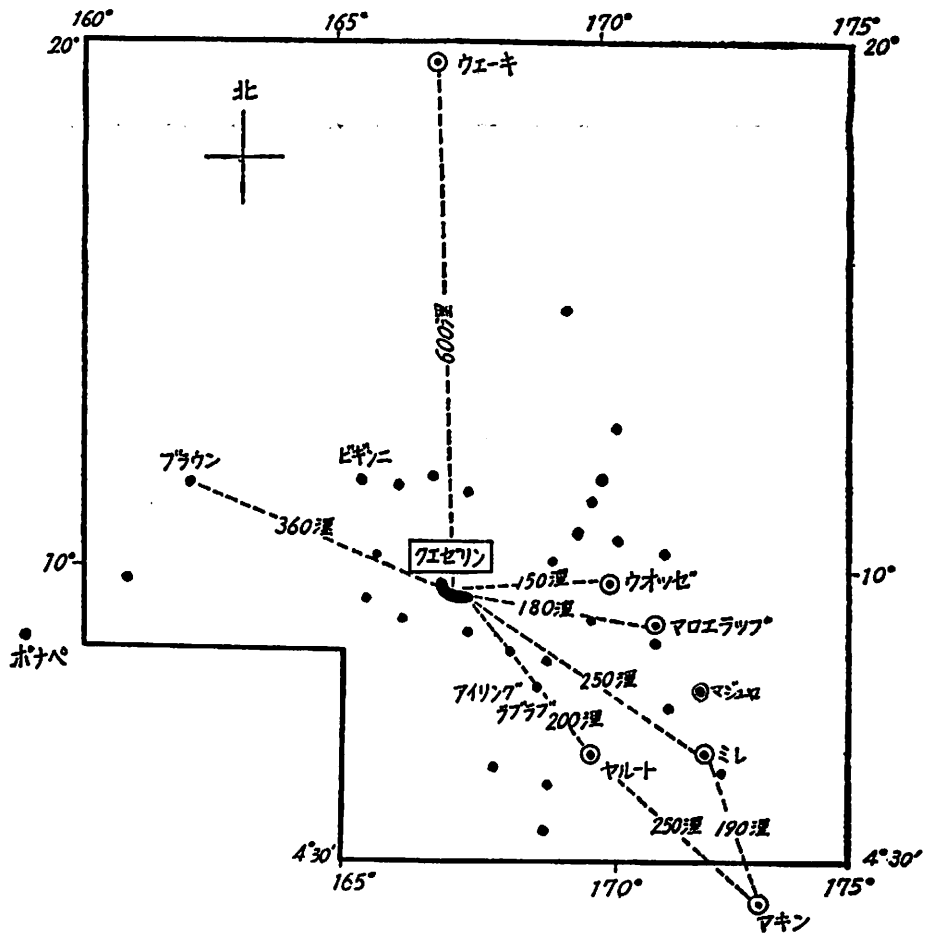
以後、各島へ行けなくても主碑をお参りすることで慰霊が果たせるようになりしました。

さらに、高齢者が炎暑の島々を巡るということは想像以上のストレスと体力の消耗につながります。この健康上の問題や、旅費の軽減なども含まれたものと思います。

現地への慰霊巡拝は、以前に較べて交通の便が良くなっています。

- ①厚生労働省
- ②日本遺族会

マーシャル・ギルバート諸島略図



が毎年戦域を分けて慰霊巡拝が行われています。

- ①主催の場合は、参加者全員に旅費

総額の三分の一の補助金が支給されますが、年齢制限があつて満七十五歳以上の方は参加できません。

②主催の場合は、どの方面の戦域に行かれても旅費は十万円と定められています。参加資格は、戦没者の遺児に限られます。

マーシャル方面遺族会と致しましては、①②の企画発表を見た上でマーシャル・ギルバート諸島方面であれば本紙で詳細をお知らせするよう心がけています。

会員会友の方々も年々高齢化が目立ちます。体は丈夫で慰霊巡拝に自信がある方でも、①②の規制と条件に合わなければ残念ながら諦める他はありません。

本会では、以上のような規制や条件で慰霊巡拝に参加できない方々のために本会主催による慰霊巡拝を企画して昨年は実施致しました（本部だより三号で詳細報告）。

実際に慰霊巡拝を企画するにあたっては、なるべく安い旅費で行けるようにと考えます。本会会員会友の皆さん

の中にはマーシャル諸島周辺の各島で戦没されたご遺族の方が大勢いらっしゃるやいます。

参考までに次の周辺諸島へ行くための旅行費用（株式会社小田急トラベルサービス調べ）は次の通りです。

クエゼリン、ルオット島 約三十万円
マロエラップ島 約七十二万円

ブラウン島 二百万円（七ページを参照）

ヤルト島 九十四万円

ナウル島 四十三万円

ウオツゼ島 七十二万円

ミレー島 八十万円

タラワ、マキン島 四十二万円

（注 Ⅱ この見積はあくまでも概算であり、季節や人員などによって変動致します。ここでは一名様でお出かけ戴いた場合を想定し、一人部屋追加料金を含んでいます。詳しくは本部までお問い合わせ下さい）

ご存知のようにクエゼリン、ルオツ

ト西島は、米軍基地のために入島の場合は司令官の許可が必要です。従ってそれ以外の島のように自由に行くことはできません。

それだけに許可証を交付された場合は米軍の好意で基地施設を利用することができると今までに一番安く行くことができました。

米国同時多発テロで 現地慰霊巡拝中止

昨年九月十一日に起こった米国同時多発テロ事件は、世界を震撼させた大事件でした。

テレビの映像を見る限りでは、実際に起こった出来事とはどうしても思えません。何回も旅客機が貿易センタービルに突入するシーンを見ると、映画を見ているような気がしました。

アメリカがこれほど打撃を受けたことはこれまでになかっただけに、大変

なショックだと思えます。

この事件が、本会の会員有志グループで集められた十一月の慰霊巡拝に影響したのです。クエゼリン島は米国の重要軍事基地であるため、即日臨戦態勢に入ったために慰霊巡拝は中止になりました。

旅行社からの説明を受け、いつ飛行機が飛ぶか不明となりました。楽しみにしていた慰霊巡拝が想像もしないテロ事件で中止になったことは甚だ残念ですが、再開するまで待つしかありません。すべての制約がなくなり、慰霊巡拝が可能になり次第本部よりご案内致します。

本会よりカーチス・レイ基地司令官にお見舞いの手紙を差し上げました

お見舞い文

先日の悲しい出来事により尊い命を

September 21, 2001

Dear sir,

We would like first to express our deep sorrow and say a word of condolence to those people of your country, those people affiliated with your armed forces, and other victims who lost their dear lives in that dreadful incident which took place the other day.

At the same time, we would like to express our gratitude for your continued deep understanding and considerable cooperation for memorial services held by the bereaved families of those who perished in Kwajalein during the World War II.

While a group of the bereaved families of the war dead in the Marshall & Gilbert Islands is scheduled to visit Kwajalein from November 4, it does not appear to be a good plan to visit your base at this time. Considering the current extremely tense and busy situation and very deep sorrowful atmosphere at your base, we held serious and cautious discussion with the families mentioned above and decided to postpone the November visit for the time being.

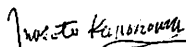
Please accept our sincere apology to those who made efforts for accepting the group and going through necessary formalities. At the same time, we would like to request for your cooperation in our next visit although the dates are not fixed yet.

Lastly but not the least, we sincerely pray for the earliest possible recovery of your country, for the recovery of the American people from the spiritual pain, and for the peace and happiness at your base.

Yours sincerely,

Makoto Kurokawa
Chairman

Marshall & Gilbert Islands Bereaved Families Association



落とされた合衆国国民、軍関係者及びその他犠牲になられた方々に対して、まず深い哀悼の意を表すと共にお見舞い申し上げます。

また、日頃より第二次大戦においてクエゼリンにおいて戦没された日本人

遺族の慰霊事業に対して深いご理解と多大なるご協力を戴き改めてお礼申し上げます。

さて、十一月四日よりクエゼリンを訪問する予定でしたマーシャル方面遺族会のグループは、貴国の悲しい出来

事を目の当たりにし、現在の貴基地の緊張と多忙、そして深い悲しみに包まれた状況を考慮しますとこの時期に貴基地を訪問することが良いこととは考えられません。

クエゼリンにおいて戦没された遺族の方とも慎重に話し合いを重ねた結果、十一月の訪問はしばらく延期することとなりました。まずは、ご連絡申し上げます。

そして、次の訪問時期についてもまだ未定です。つきましては、諸手続や受け入れにお骨折り戴いた方々にお詫び申し上げますと共に、次回訪問の際にもご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、貴国の早期の復興と、国民の方々の精神的な痛手からの回復、そして貴基地の平和と幸せを日本の空よりお祈り申し上げます。

マーシャル方面遺族会

会長 黒川誠

●ブラウン（エニウエトク）慰霊の旅モデルプラン（五ページ参照）

	月日曜日	都市名	時間	交通機関	旅程	食事
1	月 日 (日)	東京(成田)発 グアム着	11:15 15:50	CO962 バス	コンチネンタル航空962便でグアムへ 到着後、ホテルへ (グアム泊)	機内 ×
2	月 日 (月)	グアム発 マジュロ着	早朝 08:10 19:00	バス CO956	バスにて空港へ コンチネンタル航空956便でマジュロへ (マジュロ泊)	機内 機内 ×
3	月 日 (火)	マジュロ発 エニウエトク着 エニウエトク発 マジュロ着	早朝 午前 午後 夕刻	チャーター機 チャーター機	エニウエトク慰霊(3時間) (マジュロ泊)	○ × ×
4	月 日 (水)	マジュロ滞在			終日：自由行動 (マジュロ泊)	○ × ×
5	月 日 (木)	マジュロ発 グアム着	10:45 17:15	CO957 バス	コンチネンタル航空957便でグアムへ 到着後、ホテルへ (グアム泊)	○ × ×
6	月 日 (金)	グアム発 東京(成田)着	午後 17:00 19:40	バス CO963	出発まで自由行動 バスにて空港へ コンチネンタル航空963便で貴国の途へ 通関後、解散 【お帰りなさい】	○ × 機内



【写真説明】平成十三年八月十五日日本武道館において全国戦没者追悼式が開催され、本会が初めての代表献花。上右〓本会黒川誠会長を先頭に祭壇に向かう都道府県遺族会代表／上左〓祭壇に菊の花を供える黒川会長（左）／下〓菊の花で埋まった荘厳な祭壇。

寄付者芳名

次の皆様は、慰霊奉賛のため浄財をご寄付下さいました。厚く御礼申し上げます。今後共本会の存続のため、何分よろしくご協賛賜りますようお願い申し上げます。

- （北海道）伊藤フジ（宮城県）伊勢照男（東京都）矢野雄三・奥村ムツミ
- （新潟県）斎田ヨシエ・藤田ヨリ（富山県）金山美雪（愛媛県）渡辺守
- （福岡県）河村末義（佐賀県）金子庄之介（沖縄県）石原キク（会友）馬場直人（平成十三年四月十一日から十二月末日まで八万一千円也）

●環礁・本部だより：第5号 ●発行日：平成14年2月1日 ●発行人：黒川誠
 ●マーシャル方面遺族会本部：〒142-0051東京都品川区平塚3-4-17
 ●電話：03-3788-8382 ●FAX：03-3783-8384
 ●振替：東京00100-0-93487